

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

沖縄県 宜野座村

自治体名： 沖縄県宜野座村
担当課名： 教育課
電話番号： 098-968-8522

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	31.30 km ²
人口	6,465 人
公立中学校数	1校
公立中学校生徒数	262人
部活動数	8部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

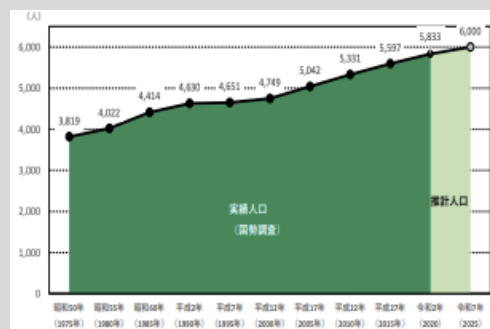
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

[現状]

- 令和7年を目標年とする将来人口は5,800人としていたが、令和2年の国勢調査では5,833人と目標人口を達成しており、人口は増加傾向。
※平成23年以降の児童数及び生徒数の推移も緩やかな増加傾向
- 村内には小学校3校、村全体を1校区とした宜野座中学校が設置されており、さらに県立宜野座高等学校が立地し、広域的な教育機関としての役割を果たしているが、近年、中学卒業後の進学は特に他自治体へ生徒が流出している現状

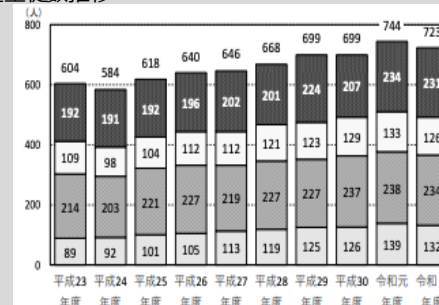
[課題]

- 地域クラブ活動の移行を契機とした魅力ある学校づくり・村内関係団体等の連携によるまちづくりを行うことで、生徒の他自治体への流出を止め、他自治体から本村の公立中学や県立宜野座高校へ流入効果を図る事が必要
- 生徒・保護者・教員のニーズ等を把握した上で、適切な方針・計画づくりを行うことが必要



出典：宜野座村 第5次宜野座村総合計画（後期基本計画）

■児童生徒数推移

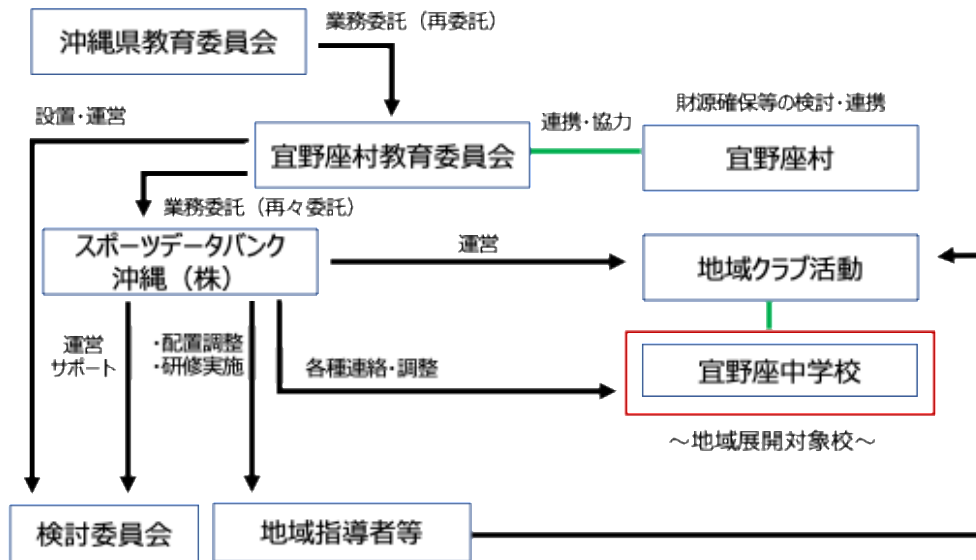


資料：沖縄県教育委員会「学校基本調査」、宜野座村教育課
出典：宜野座村 第5次宜野座村総合計画（後期基本計画）

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・本事業の主管課・方針の決定
- ・学校への通達及び調整
- ・検討委員会の設置、委員選定

◎首長部局

- ・教育委員会との連携
- ・財源確保に関する検討、連携
- ・学校体育施設の有効活用に関する検討、連携

年間の事業スケジュール

令和6年05月	・契約締結 ・庁内関係部署との打ち合わせ
令和6年06月	・対象地域クラブの学校調整 ・対象地域クラブの決定
令和6年07月	
令和6年08月	
令和6年09月	・指導者の選定 ・参加費徴収検討
令和6年10月	・指導者研修 ・保護者説明会①
令和6年11月	・保護者説明会②
令和6年12月	・実態調査アンケート ・実証スタート（ソフトテニス）
令和7年01月	・実証後ヒアリング
令和7年02月	・事業完了報告

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（ソフトテニス）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		－
全体の指導者数	2 人	全体の運営スタッフ数	3 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会 参加方法
宜野座村 地域クラブ	民間 事業者	ソフトテニス	週4回程度 ※平日含む	午前 午後	2年生 1年生 (8名)	令和7年1月	学校 テニスコート	2人	3人 (内、兼務×3人)	2,000 円	【中体連】 部活動 【その他】 地域クラブ

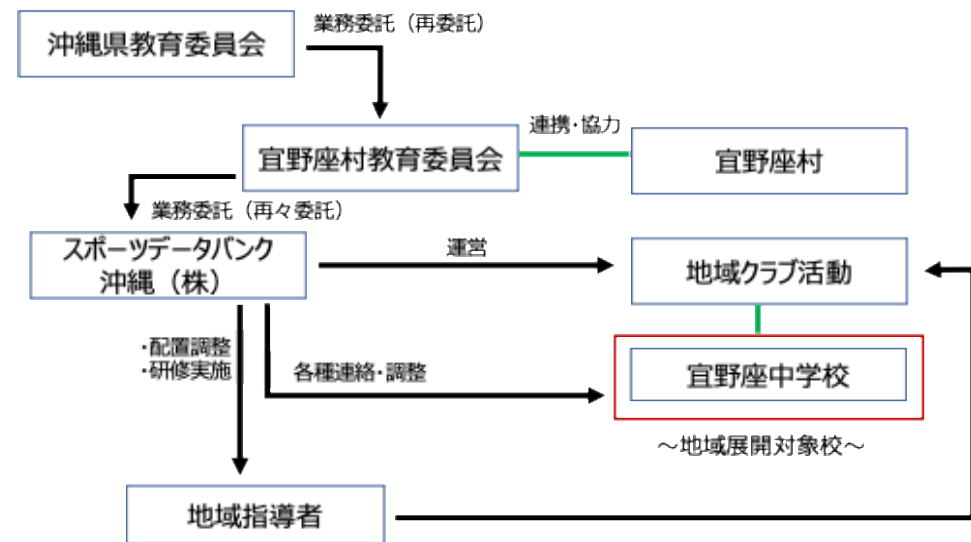
2.実証内容と成果

主な取組例

宜野座村地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	スポーツデータバンク沖縄株式会社
期間と日数	令和7年1月4日～1月20日 (実施期間中：週4回程度)
指導者の主な属性	地域の指導者
活動場所	学校テニスコート
主な移動手段	徒歩、保護者による送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	2,000円/人
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

[運営スタッフ]

➤ 統括責任者

役割：運営管理の総括的な監督を担う

➤ マネージャー・コーディネーター

役割：運営管理・進捗確認を行う（指導者調整・説明会等の実施含む）

[指導者]

役割：研修を踏まえ、適切な地域クラブ活動の運営・活動実施を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

【検討会議】

- 年度内に3回の検討委員会を実施し、学識者・学校・地域団体等との情報共有と検討事項の共有を行なった
- 民間企業に委託し運営主体を含む事業設計や体制構築を図った

【地域移行推進計画（初版）】

- 宜野座村学校部活動の地域移行推進計画（初版）案の作成を行なった（下図）

【概要】 宜野座村学校部活動の地域移行推進計画（初版） 令和7年4月		
- 教員の長時間勤務等の課題があり、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっている - 将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境を整えるため、地域の運営団体・実施主体による地域スポーツクラブ活動及び文化クラブ活動を新たに整備するための取組の方向性や留意点を示した「宜野座村 学校部活動の地域移行推進計画（初版）」を策定 「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下で、生徒の望ましい成長を保障できるよう、学校部活動に代わり、地域において持続可能な環境を一体的に整備することにより、スポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することをめざす 2023（令和5）年度から2025（令和7）年度までの3年間を改革推進期間とし、休日の学校部活動の地域移行に取り組み、地域移行の進捗状況及び国や県の方針等を踏まえて、改革推進期間終了時に、村方針の見直しを行う		
I 新たな地域クラブ活動 【要点】 - 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実（承認・認証の制度構築） - 関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備 - 地域スポーツ・文化芸術環境を整備するため、専門性や資質・能力を有する指導者の確保 - 適切な休養日等の設定 - 会費の適切な設定と保護者等の負担軽減と企業版ふるさと納税の活用等	II 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備 【要点】 - 休日の活動の在り方等の検討し、まずは、休日における地域の環境の整備 - 首長部局や教育委員会の中の地域スポーツ・文化振興担当部署等との連携 - 実情に応じたスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体制整備を段階的に推進 - スポーツ・文化芸術団体、学校、保護者等の関係者に対する方針・取組内容・スケジュール等の周知	III 大会等の在り方の見直し 【要点】 - 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し - 教師以外が引率できる体制整備の検討

□ 検討委員会 委員

主な議事

第1回

- ・沖縄県の方針
- ・令和6年度 取組み
- ・アンケート調査概要
- ・意見交換

第2回

- ・実証事業 進捗状況
- ・国の方針（実行会議）
- ・宜野座村における基本方針
- ・意見交換

第3回

- ・実証の成果報告について
- ・アンケート結果および分析結果について
- ・地域移行推進計画（初版）
- ・意見交換



取組成果および今後の課題と対応方針

- 本年度中に推進計画（初版）の作成を行うことができた。次年度以降は、計画を方針と位置付け事業の推進を図ると共に、村民への丁寧な情報発信と周知等の拡大を目指す。
- 民間企業を活用し、専門的なノウハウや地域移行のステップを市内で共有や地域クラブの運営を行うことができた。一方で、地域クラブの運営については、持続的な体制を構築する観点で課題が残ったため、継続的に検討・検証を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

本村では、今後、指導者認証基準（要件）の設定を検討していくところである。その一つとして研修制度の確立のため、e-Learningを活用した指導者研修の拡充と定着化を図っていく。

取組の成果

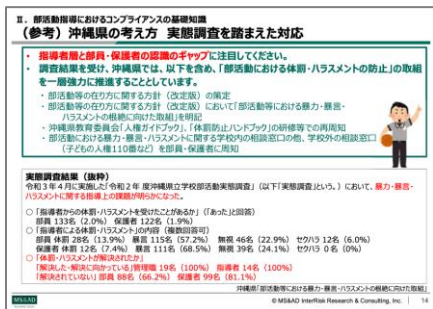
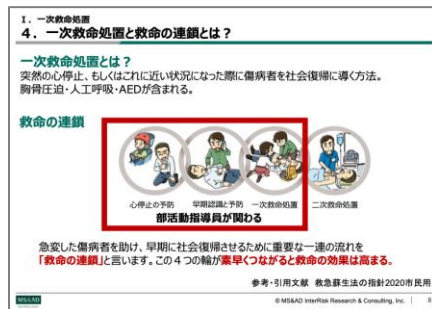
本村が地域クラブ活動の指導者として配置する指導者には、種目に関わらず指導者に共通して必要とされる資質の向上を図ることを目的としたe-Learning研修を提供し受講を必須とした。パソコンやスマートフォン、タブレットから受講できることや繰り返し受講が可能な今回のe-Learning研修は、指導者に合った時間で受講することができた。1項目あたり15分程度の時間で受講できる内容であるが、平日の仕事終わりに学習を進める点では、指導者によってはボリュームが大きいと感じられることもあった。一方で、何度も受講できる仕組みであったり、学習途中から再開できるなど、自分のペースで進められる点は、今後、様々な属性の指導者候補に対しても質の保障に結びつく研修の一つとして位置付けられた。

指導者の主な属性

- ✓ 市内中学校における外部コーチ
- ✓ 保護者（競技・指導歴あり）
- ✓ 郵便局員（*重点取組として）

その他研修

運営事業者が保有する指導者研修（活動中の留意事項）及び宜野座村における地域クラブ活動の方向性や趣旨目的の理解を深める説明会実施。



▲ e-Learningイメージ画像



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

1. 自然災害への対応	- 自然災害の基礎知識（特徴、過去の被害 など） - 風水害対策について（指導中止・中断の判断 など）
2. 救急蘇生法 一次救命処置と熱中症	- 一次救命処置（救命の可能性と時間経過 など） - 熱中症（熱中症の重症度と症状・治療 など）
3. 部活動における防犯	- 少年法と犯罪発生状況（少年法に関する知識 など） - 防犯から見た体罰（体罰の定義など）
4. コンプライアンスの重要性と ハラスメントの防止	- コンプライアンスとは（部活動指導におけるステークホルダーの期待 など） - 事例と解説（不適切行為の事例 など）
5. 子どものメンタルヘルス不調と対応	- 思春期のメンタルヘルス（思春期の特徴） - こころの不調への気づきと対応（声かけのポイント など）
6. 個人情報の取り扱い	- 個人情報の基本（真に守ってほしい情報の理解 など） - ソーシャルメディアの利用と情報漏えい（利用上の留意点 など）



確認テストの実施



各項目のe-Learning学習後にある確認テストにおいて、満点（100点）を取得することで「合格」としている。

受講者の声

Q. 地域クラブ活動に関する研修内容（e-Learning）について、特に役立った内容

全て。

→個人的にボリュームがあるように感じられて全て受講するのに時間がかかったが、自分のペースで進められる点は良かった。

今後の課題と対応方針

「質の保障」の観点からは、e-Learning研修と合わせて、本村が今後検討・設定する指導者要件を満たすための研修の在り方や受講支援等の施策も検討を行なっていく。指導者募集に際して「量の確保」の観点からは、関係団体へ周知説明を行い協力要請を図っていく。また、地域の特性上、経験のある保護者がコーチングする種目もあるため、研修実施の充実や継続的な指導ができる環境整備を行なっていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

〔村内資源の活用〕

- 宜野座高等学校と宜野座中学校における共通の種目から検討し、「バドミントン」で実証取り組みを行なった

□ 活動実績

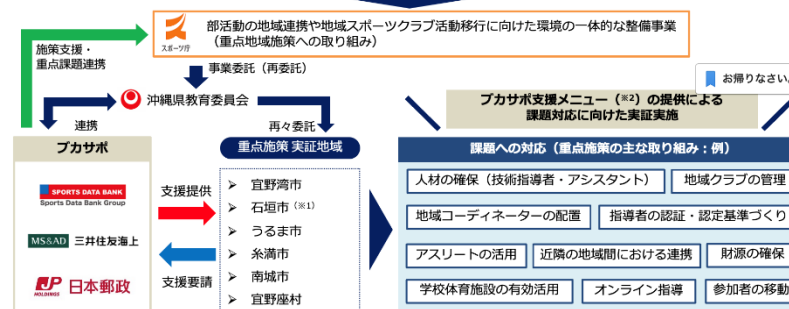
活動場所	宜野座中学校 学校体育館
指導者	・地域指導者（郵便局勤務） ・外部コーチ（宜野座中・宜野座高）
参加費	2,000円/名（税込）
参加生徒	8名（内、2名は初心者） ・小学生 2名 ・中学生 5名 ・高校生 1名



取組成果および今後の課題と対応方針

- 沖縄県教育委員会が連携協定を締結した「ブカツ・サポート・コンソーシアム（ブカサポ）」等、民間企業と連携した指導者確保等の課題解決を行なった。（右図）
- 活動場所確保の観点で、中学校施設以外の利用・活用をスムーズに実施できるよう課題整理および制度設計を検討する。

● 第1弾：沖縄県教育委員会との連携協定（2024.9.12予定）



令和6年度スポーツ庁・部活動の地域展開や地域スポーツクラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備事業（重点地域施策への取り組み）

沖縄県宜野座村の取り組み

- ◆ 指導者等を対象とした「JSPC公認スポーツコーチングリーダー」養成講習会の受講および資格取得プログラムの提案※特別協賛：日本郵政株式会社
- ◆ リスクの軽減・回避に繋がる「リスク対策eラーニング」の提供。加えてスポーツ活動等を行う子どもたちや指導者等を対象とした、活動中のケガや賠償責任を補償する「スポーツ安全保険」の加入促進。
- ◆ 名護大中郵便局社員が上記、研修メニューを受講し宜野座村バドミントン地域クラブ指導者として、2024年11月より活動。



▲ 資料提供：ブカツ・サポート・コンソーシアム

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

□ 教員、生徒、保護者への部活動及びスポーツ・文化活動に対する実態調査の実施

対象		内容
a	生徒・児童	① 生徒（全生徒） ② 児童（小学5・6年生）
		・スポーツおよび文化活動の実施状況（学校部活動含む） ・学校部活動の意義および課題 ・地域クラブに関する希望 ・地域クラブ移行に関する期待および懸念 など
b	保護者	③ 保護者（中学生）
c	教員	④ 教員（中学校）
		⑤ 教員（小学校）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組

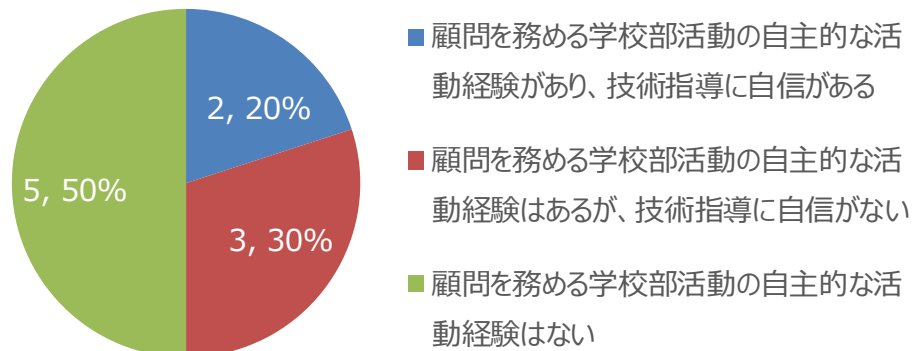


取組内容

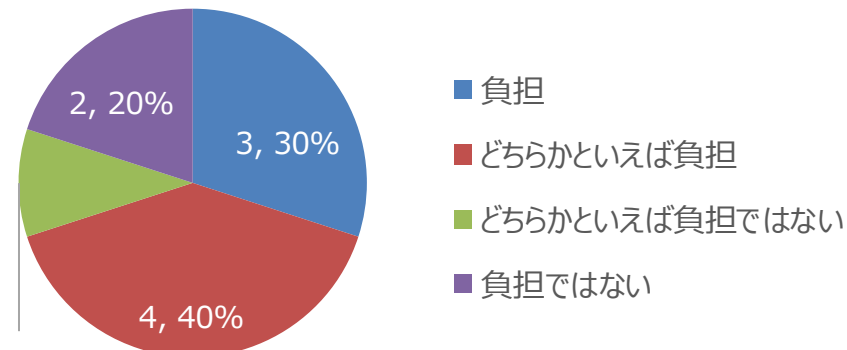
●取組項目名 オ：内容の充実

調査結果 -教職員（中学校）対象アンケート-

顧問を務める学校部活動の経験や専門性がありますか n= 10



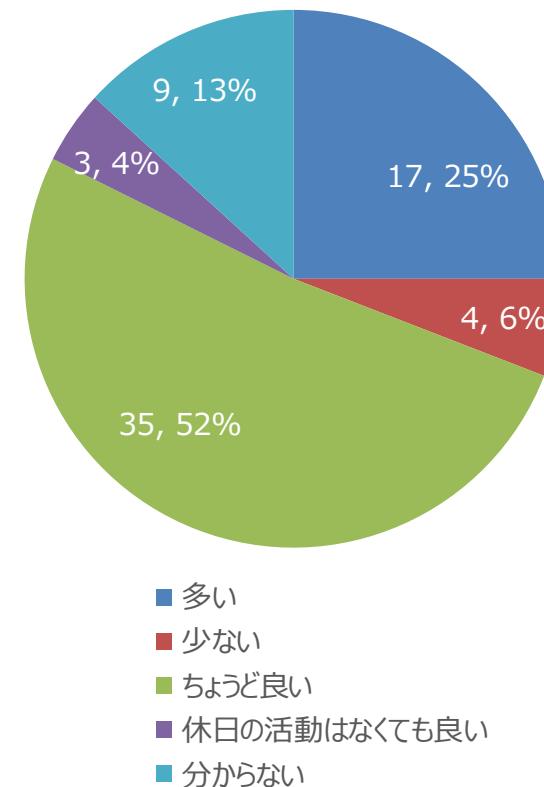
学校部活動は負担に感じていますか n= 10



調査結果 -生徒（中学校）対象アンケート-

所属する学校部活動の「休日」の活動について日数や時間をどう思っていますか

【学校部活動のみに所属している】生徒の回答 n= 68



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

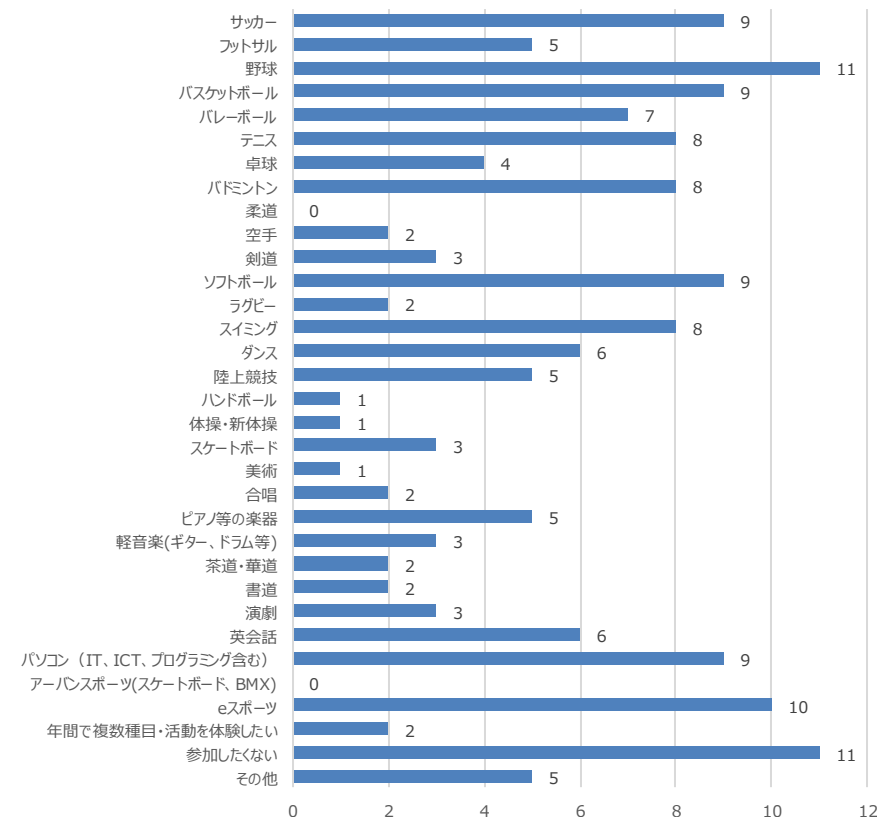
●取組項目名 オ：内容の充実

調査結果 -生徒（中学校）対象アンケート-

今後、学校部活動以外の活動として参加してみたい競技・ジャンルを教えてください（複数回答可）

【学校部活動のみに所属している】生徒の回答

n = 68

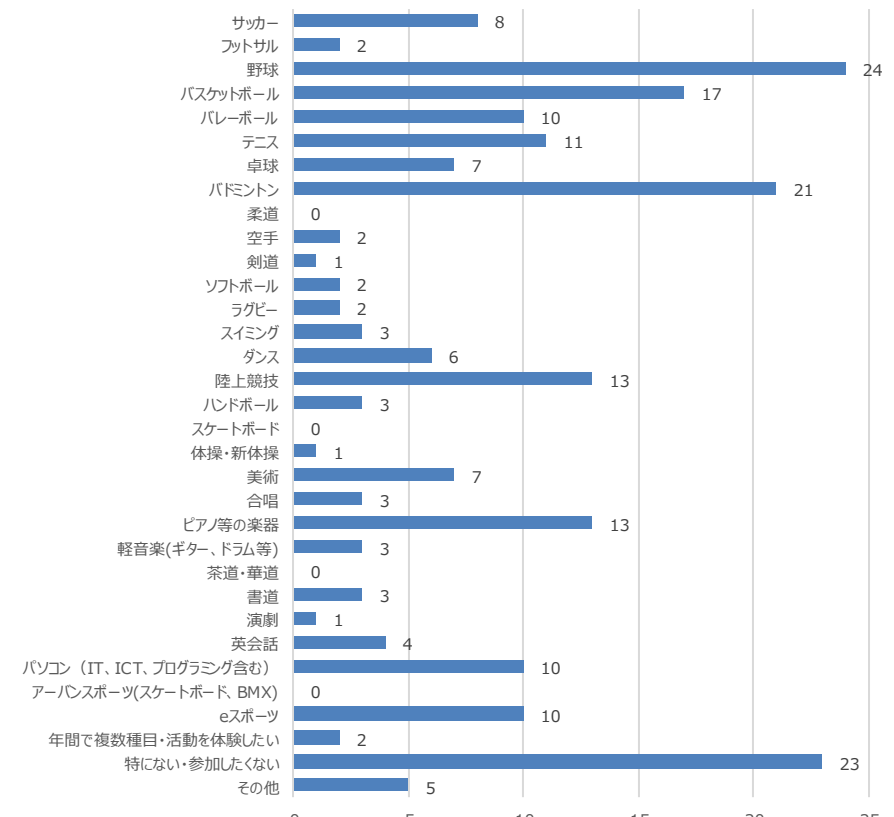


調査結果 -児童（小学校）対象アンケート-

今後、参加してみたい競技・ジャンルを教えてください（複数回答可）

【クラブ活動（部活動）スクール・習い事に参加している】児童の回答

n = 105



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等（参加費用徴収の検討）

取組事項

持続可能な地域クラブ活動の運営に向けて、参加者からの費用徴収の検証を行うとともに、経済面による子どもたちの体験格差が生じないよう、低所得者世帯への対応方法の検討及び財源確保として企業版ふるさと納税の活用に向けた方向性検討を進める。

取組の成果

今回、参加者一人当たり【2,000円/年】の参加費徴収を行うこととした。これには地域クラブ活動で必要となる消耗品（ボール等）の購入や、今後、指導者への報酬対価への担保などに充てることを試算し、今回の参加人数を想定した負担のない範囲で価格設定したところである。年会費だけでは収支マイナスがでることから月額制での検討の他、外部からの財源確保の取り組みが必要不可欠である。

■参加者10名想定

参加費	人数	合計
2,000	10	20,000

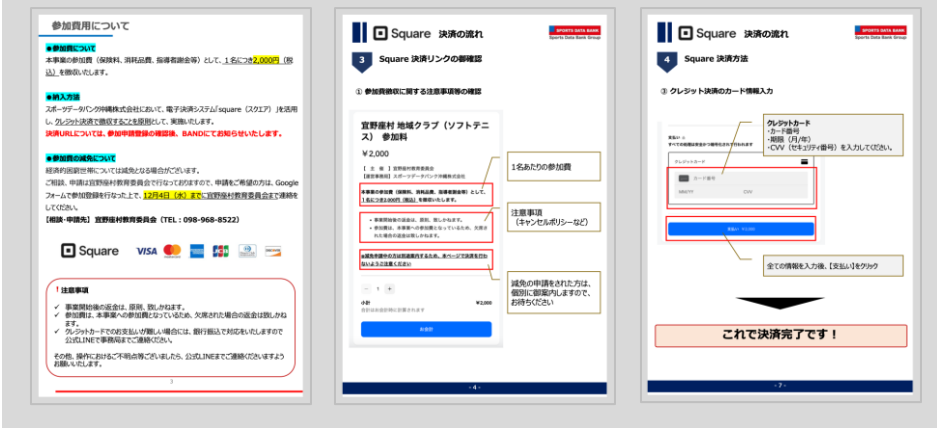
■消耗品購入想定

単価	式	合計
10,000	1	10,000

■指導者報酬想定

単価	人数	活動 (週4/月)	合計
1,600	2	16	51,200

参加費徴収に関する説明決済システムの操作方法 ※受託事業者作成資料より



地域クラブに係る経費

以下を想定とし、金額概算は次年度以降に算出と分析を実施する

■イニシャルコストの分析

- ・システム整備に係る費用
- ・ホームページ構築費用
- ・広報（チラシ等）作成費用
- ・事務用品

■ランニングコストの分析

- ・会場借料
- ・指導者謝金
- ・事務局人件費
- ・指導者研修費（資格取得費用含む）
- ・消耗品費
- ・大会参加費、登録費
- ・生徒＆指導者管理システム使用料

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等（参加費用徴収の検討）

取組事項

持続可能な地域クラブ活動の運営に向けて、参加者からの費用徴収の検証を行うとともに、経済面による子どもたちの体験格差が生じないよう、低所得者世帯への対応方法の検討及び財源確保として企業版ふるさと納税の活用に向けた方向性検討を進める。

取組の成果

今回、参加者一人当たり【2,000円/年】の参加費徴収を行うこととした。これには地域クラブ活動で必要となる消耗品（ボール等）の購入や、今後、指導者への報酬対価への担保などに充てることを試算し、今回の参加人数を想定した負担のない範囲で価格設定したところである。年会費だけでは収支マイナスがでることから月額制での検討の他、外部からの財源確保の取り組みが必要不可欠である。

■参加者10名想定

参加費	人数	合計
2,000	10	20,000

■消耗品購入想定

単価	式	合計
10,000	1	10,000

■指導者報酬想定

単価	人数	活動 (週4/月)	合計
1,600	2	16	51,200

The image displays four screenshots of the Square payment system interface, illustrating the process for a local club. The first screenshot shows the registration page with fields for name, address, and contact information. The second screenshot shows the payment flow page, indicating the amount to be paid (¥2,000). The third screenshot shows the payment method selection page, where users can choose between credit/debit cards or bank transfer. The fourth screenshot shows the payment completion page, confirming the successful transaction. Red boxes and arrows highlight key steps and information throughout the process.

▲参加費徴収に関する説明
決済システムの操作方法
※受託事業者作成資料より

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等（企業版ふるさと納税活用の検討）

今後の課題と対応方針

● 企業版ふるさと納税等の寄付の活用

参加費用の高額化や所得格差による機会損失を防ぐための財源確保や仕組みの構築が必要である。本村では令和5年度から受入を開始している「企業版ふるさと納税」の活用について令和6年度中に本村財政係と3回の協議および調整を行なった。

協議の結果として、「地域再生計画」と本村「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容から「結婚・妊娠・出産の希望をかなえ、安心して子育てが出来る環境づくり」事業の「地域と協働による児童の健全育成」の事業項目に該当することを確認した。村長部局・教育委員会部局での庁内調整・連携を深め、令和7年度より具体的な事業としての追加・受入開始を予定している。

● 村民理解の拡充と適正な参加費の設定

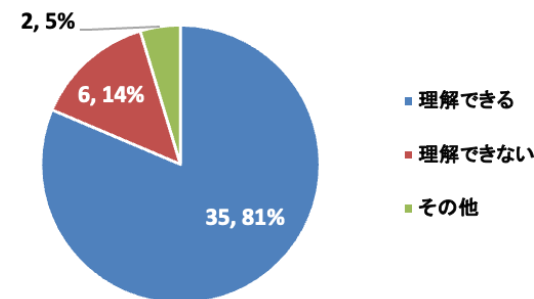
今年度に中学生保護者を対象としたアンケート結果において、地域クラブに移行する際の費用負担について、81%が『理解できる』と回答しているため村民にも一定の理解を得られている一方で、『経済的負担』を心配する割合も多い状況である。

そのため、本年度の徴収した参加費用を基準とした適切な金額設定と支援策を構築すると共に、周知や説明等を丁寧に行うことで、持続可能な地域クラブの運営を目指す。

重点 企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用	
● 宜野座村まち・ひと・しごと創生推進事業（地域再生計画より抜粋）	
事業名称	具体的な事業
ア わらの特性を活かした「しごと・活動の場」づくり事業	- 新たな企業誘致及び施設の機能強化 - 高工業の振興 - 農水産業を活かした稼ぐ力の強化 - 多様なチャレンジの創出支援 - チャレンジの場づくり等
イ 豊かな自然環境や地域資源を活かした「人の流れ」を受け入れる環境づくり事業	- ブランディング（地域ブランド化）と効果的な情報発信 - 地域への愛着・郷土愛（地域意識）の向上 - 交流観光施設基盤の充実 - 体験・交流（着地型観光）の推進 - ふるさと納税制度の活用 - 定住の推進 - 既存住宅の活用等による住環境の整備等
ウ 結婚・妊娠・出産の希望をかなえ、安心して子育てが出来る環境づくり事業	- 出会いの場づくりと結婚支援 - 安心して妊娠・出産を迎える環境づくり - 子どもの健やかな育ちへの支援 - 就業前教育・保育の充実 - 子育て世代の経済的負担の軽減 - 地域と協働による児童の健全育成 - 仕事と家庭の両立支援 - 豊かな心と生きる力を育む学校教育の推進 - 子どものキャリアデザイン・ライフデザインの推進 - 高校・大学の進学に向けた学習支援等
エ 活動する「ひと」づくり、未来につながる「協働」のむらづくり事業	- 活動するひとづくり - 心身ともに健康なむらづくり - 地域コミュニティの支援と協働のむらづくり - 暮らしやすさの追求 - 行政の効率化及び広域連携の推進等

引用：庁内協議資料〔村教育委員会・村総務課・委託事業者〕

休日の学校部活動を地域クラブに移行する際の費用負担について、あなたの考えに近いものを教えてください



引用：R6年度 中学生保護者対象アンケート結果より

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

本村において、現状、宜野座中学校における学校開放利用者（教育課程外での一般利用団体）には、スペアキーの貸し出しをしており、鍵の紛失の恐れや利用時間（開錠施錠）の管理が難しい部分もある。そのため、地域クラブ活動の拠点化を見据えた施設の安全管理等も踏まえてスマートキーボックス及びクラウドカメラ設置・導入に向けた検討と実証を行う。

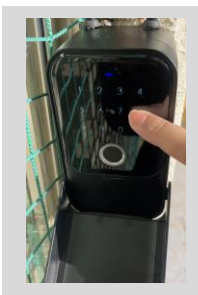
取組の成果

【スマートキーボックスの設置】

鍵本体の管理をICTツールで行う「スマートキーボックス」による検証を行った。今回使用した機器は、Wi-Fi環境がなくても操作ができるタイプであり、LTE通信サービスの範囲内で設置可能なものであった。事前に安定したLTE通信環境があるかどうかのテストを行い、本設置に進めた。

鍵本体での管理に慣れていた方に関しては、最初は操作に不慣れさを感じていたが、シンプルな方法であったため、数回で操作は問題なく行われた。一方で、設置条件がクリアであった場所が体育館裏側であったため、その点での改善点は浮き彫りになったところである。

スマートキーボックス本体▶
(パスコード入力時)



【クラウドカメラの設置】

今回、検証のために設置した機器は置き型タイプの1台であったため、全体が映せる設置場所が限定的で出入口を画面に収めることはできなかったが、施設体育館内が見渡せる位置としていることから、地域クラブ活動や指導の状況（様子）を確認することでは十分であった。今後、導入可能性に向けては、部活動地域移行促進公立学校施設整備費補助金の活用や、機器の仕様（現状復帰が前提となるものか、工事を要するものでも破損等が発生しづらい場所への設置ができるもの等）、ランニングコストを踏まえた比較検討を行う必要がある。

クラウド上での画面▶
(地域クラブ活動 | バドミントン*重点)



今後の課題と対応方針

本村では、学校体育施設の一般利用団体等は現状多くなく、アナログでの対応となっているが、今後、地域クラブ活動の拠点化を目指していくために、鍵の管理方法も含め、体育施設内の使用にかかる安心の担保や安全性の向上をクラウドカメラの設置により効果を位置付けていくとともに、利

用者の一元管理ができる仕組み構築も検討していきたい。また教育委員会は、社会体育施設も管轄しており、学校体育施設と共に指定管理制度も含めた構築の検討にも繋げていきたい。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

今後、学校単位でのスポーツ活動の実施が困難になる予測を踏まえ、地域クラブ活動の運営管理の仕組み構築・確立に向けて、1クラブにおいてモデル実証を行い、また今回、初の試みとして参加者からの費用徴収を実施した。保護者説明をオンラインで開催、参加費があることもあり、申込期間中での反応があまり思わしくなかった状況にあった。参加費の発生に関しては、初めての取り組みということも踏まえ、十分な理解を得るために保護者理解の得やすい形での説明会実施の検討が必要だと感じた。

また、持続可能な地域クラブ活動の環境整備に向けて、財源確保の一つの手法である企業版ふるさと納税の活用を庁内関係部署との勉強会を実施したことにより、既存の「地域再生計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において事業項目に該当できる内容が確認できた。次年度以降、本格的なアクションにつなげられたことは大きな一歩であり、今後も財政面だけではなく施設面やシステム面など様々な手法を検討していくにあたっては、村長部局・教育委員会部局での相互連携を引き続き深めていきたい。

●成果の評価

今回、初の試みとして、参加者からの費用徴収を実施した。現金払いではなく、システムでのクレジット決済の対応のみとしたが、決済方法や流れを事前に周知していたこともあり、トラブルなく徴収ができた。参加費の費用負担に関して、一定の理解があることはアンケートからも読み取れるが、今後、年間や月額、村の実情に応じた価格設定を適切に行い、保護者等への周知を図っていく必要がある。その一歩として、実際の費用徴収が実施でき、実績をつくったことは今回の成果として評価したい。

費用に関連して、困窮家庭への支援策の検討を進めていくと同時に、今回議論した企業版ふるさと納税の活用の見通しが立てられたことも大きい。次年度から実際に募っていくフェーズに移るため、寄附金の有効的な活用ができるよう、地域クラブ活動にかかる試算と収支バランスの整理も行なっていきたい。

●今後に向けて

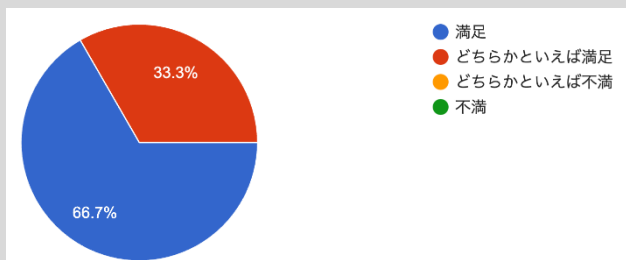
策定した推進計画を基に、次年度以降は地域クラブ活動の拡充及び関係する規則や制度の見直しや検討などを進めていく。まず、財源確保として企業版ふるさと納税の活用実施の見通しが建てられたため、令和7年度から具体的な事業としての追加・受入開始を予定する。また、地域クラブ活動の認定基準を設けると同時に指導者要件の整理を行い、適切なクラブ認証及び指導者配置と研修制度の確立を進めていく。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

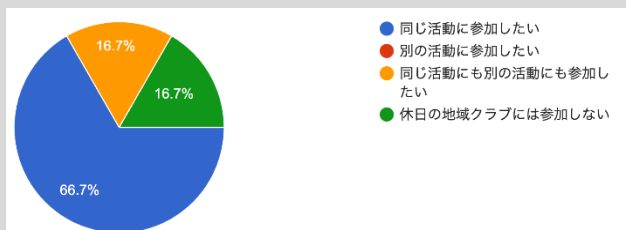
●アンケート結果

Q. 地域クラブ活動の満足度を教えてください



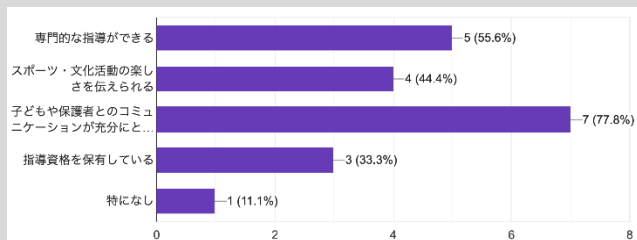
満足 |
66.7%
どちらかといえば満足 |
33.3%

Q. 次年度も休日の地域クラブを継続した場合、参加したいと思うか



・同じ活動に参加したい
66.7%
・同じ活動にも別の活動にも参加したい
16.7%
・休日の地域クラブには参加しない
16.7%

Q. 指導者に求めるものを教えてください



【上位3】

- 子どもや保護者とのコミュニケーションが充分にとれる
- 専門的な指導ができる
- スポーツ・文化活動の楽しさを伝えられる

●参加者の声

参加生徒

- ・希望する活動ができ、勝敗や入賞にこだわらない気軽に楽しめる活動ができた

指導者

- ・地域、学校、行政が一丸となり本気で解決に取り組むべき。まずは意見交換できる場を多く設けるべき。

保護者

- ・指導者、保護者の負担はある程度理解するが、行政の補助サポートがなければ運営は難しいと思います。スポーツを頑張る子供たちやサポートする保護者などの負担軽減、広くスポーツ活動を広めるにあたって考慮頂きたいです。

顧問教員

- ・教員がボランティアや善意で行っていたことを、地域(コーチ)になすりつけただけになっている気がしています。教員がやるにしても地域がやるにしてもしっかりと時間や労力に見合った賃金を出すようにしてほしいです。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

再周知! 宜野座村
「ソフトテニス地域クラブ活動」案内

(令和6年度 宜野座村地域クラブ活動モデル事業)

地域クラブ活動は、文部科学省（スポーツ庁）より方針が出されている取り組みで、令和5年度から令和7年度の期間においては、学校部活動の土日・祝日の活動を地域活動に移行することに段階的に取り組んでいくための改革推進期間と位置付けられています。本年度、本改革の実証研究として取り組むものとして、宜野座村ではソフトテニスをモデル実証として活動に取り組んでいきます！

ソフトテニスで スポーツを楽しもう♪

事業主体者 | 宜野座村教育委員会
運営事業者 | スポーツデータバンク沖縄株式会社
実施種目 | ソフトテニス
実施場所 | 宜野座中学校
対象者 | 宜野座中学校ソフトテニス所属生徒
活動日程 | 休日活動の地域移行（実施曜日は原則、土日祝日のうち1日）
活動期間 | 2024年12月～2025年1月（合計8回）※予定
参加費 | 2,000円/名（税込）
※参加費は保険料、消耗品、指導者報酬等に充てられます
※経済的困窮世帯については、減免となる場合がございます
（参加登録後、申請希望の有無を確認いたします）
申込期間 | **2024年12月13日（金）まで**
*Googleフォームで申請

保護者説明会の関係資料・参加申請フォームの詳細は裏面をご覧ください！！

【問い合わせ先】
宜野座村-地域クラブ活動（LINE公式アカウント）
▶ 右記QRコードからお問い合わせください

【生徒への参加啓発チラシ】

Square 決済の流れ Sports Data Bank Sports Data Bank Group

2 Square 決済リンクの御案内

① 事務局からBand内において御案内
事務局よりBandのトークルームから決済リンクのご案内をいたしますので、そちらのリンクをクリックしてください。

② 参加クラブのページ
事務局から案内された決済リンク先が、参加するクラブのページかをご確認ください。

宜野座村 地域クラブ（ソフトテニス） 参加料 ¥2,000

【主催】宜野座村教育委員会
【運営事務局】スポーツデータバンク沖縄株式会社

本事業の参加費（保険料、消耗品費、指導者謝金等）として、1名につき2,000円（税込）を徴収いたします。

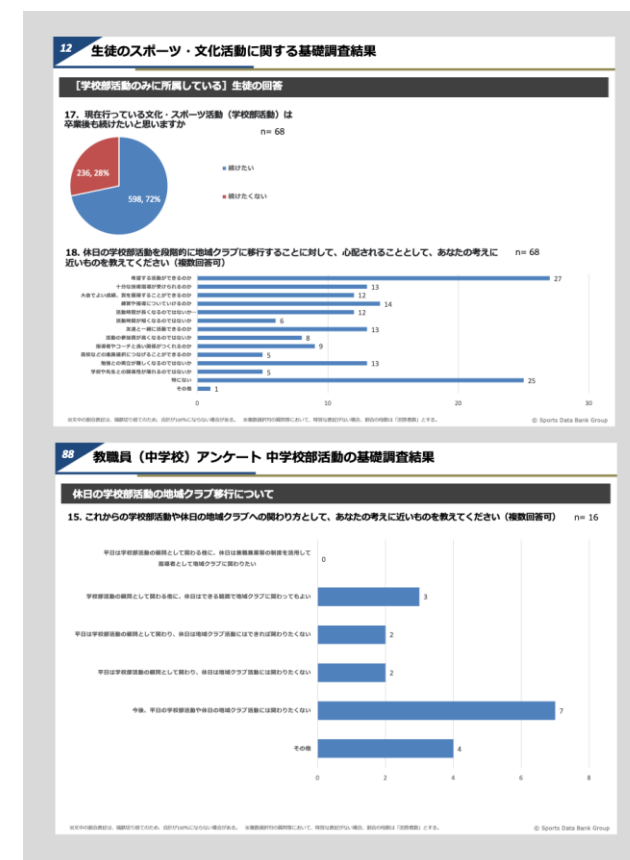
- 事業開始後の返金は、原則、致しません。
- 参加費は、本事業への参加費となっているため、次開かれた場合の返金は致しません。

※延長や途中での退会は別途案内するため、本ページで決済を行わないようご注意ください

小計 ¥2,000
合計は合計時に計算されます

お会計

【参加費徴収システムの案内】



【アンケート結果】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【スマートキーボックス設置確認】



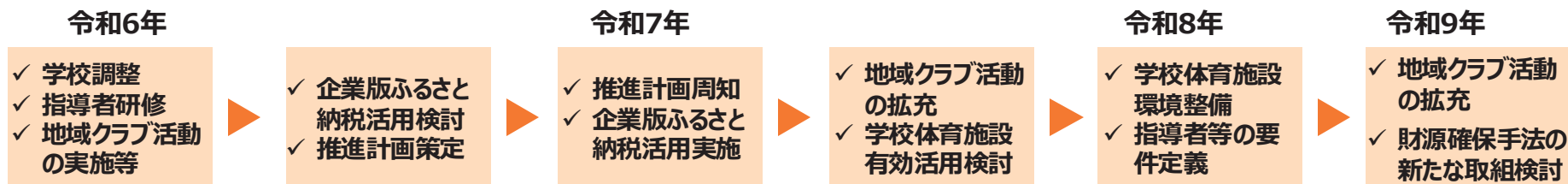
【クラウドカメラ設置の様子】



【検討委員会の様子】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

村長部局、村教育委員会、総括コーディネーター、学校、村内スポーツ関係団体、地域指導者（近隣地域含む）

経過

●経過

本村は、令和5年度から地域移行の取り組みを進めてきたところである。村内1中学校において、今後、学校単位でのスポーツ活動の実施が困難になる予測を踏まえ、令和6年度では地域展開の環境整備に向けた地域クラブ活動の運営管理の仕組み構築や、中学生年代だけに括らない多世代との活動可能性も含めた検討と実証を行なった。また、村としての方向性を地域で共通認識を図るため、推進計画策定の検討を進めた。

●実施にあたって生じた課題

これまで学校管理下で行われてきた学校部活動で外部指導者として関わってきた指導者の多くは、ボランティアに近い形で指導に当たっていた。今後、地域クラブ活動の指導者として関わっていく際には、これまで一部学校のサポート等があったところが地域クラブとして担っていかなければならない点は、大きな課題として感じていることが分かった。例えば備品の調達・確保や活動場所の確保、また今後、地域クラブとして大会参加の場合には参加費や遠征費等、指導者だけでなく参加家庭の費用負担が大きくなると参加者も減っていく懸念が示された。

●今後の展開

策定した推進計画を基に、次年度以降は地域クラブ活動の拡充及び関係する規則や制度の見直しや検討などを進めていく。まず、財源確保として企業版ふるさと納税の活用実施の見通しが建てられたため、令和7年度から具体的な事業としての追加・受入開始を予定する。また、地域クラブ活動の認定基準を設けると同時に指導者要件の整理を行い、適切なクラブ認証及び指導者配置と研修制度の確立を進めていく。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ[°]

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
方針・制度設計			
検討委員会の設置・運営			
推進計画の策定及び周知			
教員の兼職・兼業の規定及び運用の見直し			
実施主体・地域クラブ運営			
実施主体（地域クラブ）認証・基準づくり			
地域団体等との連携・協議			
実施主体の認定・運営			
指導者・研修制度			
指導者基準・条件の整理			
研修・認証制度の整理			
人材バンクの設置・募集・運営			
財源の確保・参加費の設定			
経済困窮家庭への支援制度の検討・方針決定			
企業版ふるさと納税含む財源確保の仕組みづくり			
参加費の設定・周知・受け入れ			
学校体育施設の有効活用			
学校施設利用方法（指定管理制度・予約システム含む）の見直し			
ICT活用の検討・導入・運用			
学校体育施設の安心安全な仕組みづくり			